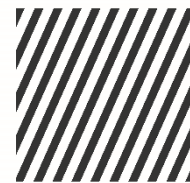


地域活動の活性化に向けたワークショップ

庄栄地区ニューズレター

Vol.02 令和4年10月

次なる
茨木へ。



庄栄地区では、「コロナでストップしたコミュニケーションを復活させよう！」をメインテーマに、地域の更なる活性化を目指して、全3回のワークショップを実施しています。令和4年9月25日（日）に開催した第2回のワークショップでは、第1回目の内容を踏まえて「子育て・子育て」、「地域の居場所づくり」、「にぎわいづくり」、「安全・安心」の4つのグループに分かれてアイデアを出し合いました。

ワーク1：テーマの現状と課題を洗い出そう！

ワーク1では、なぜこのテーマについて話したいと思ったか、グループのそれぞれのメンバーの思いを共有した後に、テーマごとの現状と課題について話し合いました。

第1回WSのまとめから整理したテーマ

テーマ①：子育て・子育て

(例)
・小さい子がイベントに参加して思い出づくり
・大きくなって運営にかかわれるような流れ
・各自治会でのこども会の発足
・子育て世代同士のつながり・子育て世代と地域のつながり⇒0才の間に地域と交わる接点が必要

テーマ②：地域の居場所づくり

(例)
・子ども食堂も一緒にやるなど、高齢者だけでなく多世代で関わられる場所
・老若男女問わず、いつ行っても誰かがいるような居場所

共通テーマ

○担い手不足
(例)
・いかに自治会に入ってもらおうか(メリットが必用?)
・忙しい子育て世代が、小さなことから参加できるきっかけをつくる
・地域ボランティアを増やす

○団体・活動の連携

(例)
・老人会、福祉委員会、民生委員会、おしゃべりサロンの連携
・大学生とも連携を

○つながり・交流の促進

(例)
・共通理解からはじめよう
・若い世代・単身世帯と地域との関わりも考えたい。
・「在宅親子」「保・幼・小」「地域の人」のつながりがあると良い

テーマ③：にぎわいづくり

(例)
・公園に花壇をつくれば新発想でつくる。ふるさと祭を考えよう
・子どもが参加できる行事をつくりたい

テーマ④：安全・安心

(例)
・災害対応・災害時行動シミュレーションの実施
・地域防災の組織づくりも考えた
・防犯・交通安全の取り組み
・通学の見守り活動は地域との関わるきっかけになる

◆第2回実施概要

日時 2022.9.25（日）18:00~20:00

会場 庄栄コミュニティセンター

参加者数 22人

プログラム

- 1 第1回目の振り返り
- 2 お題トーク（アイスブレイク）
- 3 各グループで自己紹介
- 4 ワーク①：テーマの現状と課題を洗い出そう！
- 5 ワーク②：取組みアイデアを考えよう！
- 6 グループ発表（全体共有）

○各グループの主な話し合い内容（抜粋）

グループ	テーマに関する魅力／できているところ	テーマに関する課題／もったいないところ
①子育て・子育て <今ある活動の継続>	・マンションや新しい住居も増え、子どもの人数が増えて、活気がでてきている。	・コミュニティ、つながりの希薄化 ・若い世代の人とのつながり方 ・引っ越して来られた方々の把握ができない
②地域の居場所 <いきいきサロン>	・老人会に入っていないなくても参加できる ・いきいきサロンとおしゃべりサロンは違う曜日に実施するなど、居場所のニーズを補完し合っている。	・居場所づくりの活動がまだ浸透していない ・知らない人への周知 ・高齢者中心から子どもや若者も巻き込みたい
③にぎわいづくり <ふるさと祭り>	・地域全体で関わりが持てる場 ・子どもたちに覚えてもらえる場 ・通りすがりでも楽しめて参加しやすい	・準備・運営の負担が大きい ・情報発信が足りない ・若い人が最初に参加するきっかけがない

グループ	テーマに関する魅力／できているところ	テーマに関する課題／もっていないところ
④安全・安心 <防災>	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成運動協議会が防災訓練等を年1回実施している。 ・民生委員が見守り活動を実施。 ・地域と連携した防災への取組みのきっかけとして中学校が動こうとしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が多く、災害時の対応をどうするのか不透明 ・避難所運営や避難時の情報伝達、緊急時の連携等が不透明でいざというときに困る ・自主防災組織がなく、防災に関する取組みが十分に行えていない。 ・中学生と連携した取組みの事例がない

ワーク2：取組みアイデアを考えよう！

ワーク2では、ワーク1で洗い出したテーマごとの現状と課題をもとに、**現在抱えている課題を解決するための取組みや、現在の活動をもっと楽しく続けていくための取組み**のアイデアを出し合いました。



○各グループの主な話し合い内容（抜粋）

グループ	取組アイデア
①子育て・子育て <今ある活動の継続>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なお楽しみイベントを継続し、活動の担い手づくりにつなげる ・子どもが「発表する」「展示する」場、機会を増やす ・取組みを幅広く発信する仕組みづくり ・活動している側の、活動していて良かったことの体験談を伝える
②地域の居場所 <いきいきサロン>	<ul style="list-style-type: none"> ・告知方法の検討 まずは参加して体験してもらえるように告知を強化→自治会と連携して掲示板に掲示 ・各団体間で連携しお互いの活動の告知を行う ・若い人からのアイデアの募集や開催場所を分かりやすく工夫する
③にぎわいづくり <ふるさと祭り>	<ul style="list-style-type: none"> ・小さく再開（こじんまりした内容からリ・スタート） ・次の担い手のためのマニュアル化、運営側も楽しめる企画に ・大学生との連携や自治会同士の連携など、コラボによる運営にチャレンジ
④安全・安心 <防災>	<ul style="list-style-type: none"> ・誰でも避難所の運営ができるように避難所マニュアルを作成。 ・他校区の自主防災組織や避難所運営マニュアルの勉強をしてみる ・自宅でできる災害対策についての啓発を行う

次回、最終回のワークショップは 11月13日（日）。庄栄地区の将来像を見据え、庄栄地区で進めてみたいまちづくりアイデアの具体化に向けたワークショップを行います。